

第46回  
2025

募集案内

フォックス・

タルボット賞

**Fox Talbot Award**

主催 東京工芸大学  
協賛 東京工芸大学同窓会



# 第46回 2025 フォックス・タルボット賞

東京工芸大学は、1923年に日本で初めての写真の専門高等教育機関として創立した小西写真専門学校を前身としています。創立当時の写真は、テクノロジーとアートが融合した社会を変革する可能性を持つ新しいメディアでした。本学は、写真という最先端の教育と研究を原点として、現在は工学部と芸術学部という二つの学部からなる、極めて特色ある総合大学へと発展してきました。

フォックス・タルボット賞は、新しい写真表現への挑戦を奨励するとともに、若い写真家の登竜門として機能することを目的として、イギリスのフォックス・タルボット美術館の協力を得て、1979年に創設されました。

本賞に名を冠しているウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット(William Henry Fox Talbot, 1800-77)は、近代的な写真システムの原型といえるネガ・ポジ法の発明者であり、革新的な科学者であると同時に優れた芸術家でもありました。

本学において、フォックス・タルボットの偉業を讃える写真賞を創設し

たことは、まさにテクノロジーとアートの融合によって社会に貢献する人材を育成しようという、本学の建学の精神に則った取り組みなのです。

フォックス・タルボット賞は、東京工芸大学の全ての学部・学科、研究科・専攻の学生と卒業生に挑戦の機会が与えられています。

また2021年度より、東京工芸大学同窓会より協賛をいただき、奨励金の総額を増額するとともに、これまでの技法や技術の巧拙にとらわれない、萌芽的な写真表現を対象とする奨励賞を設置しました。

本賞に応募し、受賞することは、広く写真と文化の発展に寄与するとともに、これからの皆さんの人生にとって、とても大きな価値を持つことでしょう。

皆さんの創造力と独創性に溢れた多くの作品が応募されることを期待しています。

2024年11月

東京工芸大学 学長 吉野弘章

## 表彰及び写真展

### 1 | 賞

#### [選考方針]

本賞は、時代性を問わず、またジャンルの区別なく、高い技術力を備えた100年先の未来に遺したい取り組みを評価対象とします。ただし奨励賞については、既存の写真表現の枠に収まらない斬新なアイデアを備えていることをより重視して評価します。

第一席	賞状・楯並びに奨励金	50万円	1名
第二席	賞状・楯並びに奨励金	20万円	1名
第三席	賞状・楯並びに奨励金	10万円	1名
モノクロ賞	賞状・楯並びに奨励金	10万円	1名
奨励賞	賞状・楯並びに奨励金	7万円	1名
佳作	賞状・楯並びに奨励金	3万円	5名以内

### 2 | 審査委員

立木義浩 / 中谷吉隆 / 小林紀晴 / 梁丞佑 / 本城直季

### 3 | 入賞発表

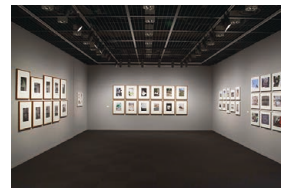
2025年2月初旬、本学中野キャンパス・厚木キャンパスの掲示板及び大学公式サイトにて発表します。なお、入賞者には直接通知します。

### 4 | 表彰

表彰式は2025年3月15日(土)に本学「写大ギャラリー」で行う予定です。入賞者は表彰式に必ず出席してください。

### 5 | 写真展

2025フォックス・タルボット賞受賞写真展は2025年2月25日(火)から3月22日(土)まで本学「写大ギャラリー」で開催する予定です。



### 6 | コレクション

入賞作品は「写大ギャラリー・コレクション」としてパーマネントコレクションの対象とします。なお、写真展及びパーマネントコレクションの作品については、再プリントを要請する場合がありますので予めご了承ください。

### 7 | 作品の使用権

著作権は作者に帰属しますが、入賞作品の優先使用権は本学が保有します。

## 応募条件

- **応募資格**
- ① 東京工芸大学(芸術学部・工学部)、東京工芸大学大学院(芸術学研究科・工学研究科)に在籍する学生及び研究生
  - ② 東京工芸大学(芸術学部・工学部)、東京工芸大学大学院(芸術学研究科・工学研究科)を卒業又は修了して10年以内(※)の者。 ※2014年3月以降の卒業又は修了
- **応募期日** 2024年 12月16日(月) ～ 2025年 1月20日(月)
- **応募作品** 写真作品で未発表のものに限ります。
- **テーマ** 自由
- **作品形式** 単写真、組写真あるいは複数枚による作品。ただし、1作品につき30枚以内とします。  
なお、作品応募数に制限はありません。
- **作品サイズ** カラー、モノクローム共にプリントサイズ8×10インチ(六切)～11×14インチ(大四切)  
もしくはA4～A3サイズ(A3ノビは不可)を使用したプリントで応募してください。
- **応募方法**
- ① 複数枚で構成された作品で順序が必要な場合は、写真表面にキズのつかない方法で、裏面に番号を記してください。
  - ② 所定の「応募票」に必要事項を記入してください。応募票は1作品単位で作成してください。
  - ③ 写真サイズに見合う適当な封筒に1作品単位で写真を入れ、応募票を同封してください。
- **応募上の注意**
- ① 応募作品は変色・写真の折れ・スポッティング・カッティング等仕上げに充分注意してください。  
(画面外余白を残してください)
  - ② 作品を郵送する場合は、写真が折れないよう厚紙でカバーし、できるだけ書留で送ってください。
  - ③ 必ず本人が応募してください。代理人による応募は受付できません。
  - ④ 表彰式に出られない場合は受賞対象外になることがあります。
- **応募受付**
- ① **本人持参**: 受付時間 月～土 10:00 ～16:30  
受付場所 中野キャンパス庶務課  
[ただし、12月27日(金)～1月4日(土)及び1月17日(金)・18日(土)の窓口受付は行いません]
  - ② **郵送**: 下記フォックス・タルボット賞委員会へ(応募締切日必着)
- **作品の返却** 受賞作品以外は希望により2月中旬以降返却します。在学生の作品は各所属部門を通じて返却します。  
厚木キャンパス在学生と卒業生には宅配便にて返却しますので、返却希望者は応募票の「返却希望」の欄に○印をお願いいたします。
- **問い合わせ先** 東京工芸大学芸術学部 フォックス・タルボット賞委員会  
〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 E-mail: ft@office.t-kougei.ac.jp

第46回 2025 フォックス・タルボット賞 応募票

※応募票は1作品単位で作成してください

氏名	(ローマ字)	e-mail	
		電話	
現住所	〒 ー		
在学生	学部 研究科	学科 専攻	年 卒業生 (西暦) 年卒業 歳
返却希望	有	無	写真枚数 枚
題名	(フリガナ)		
作品説明 もしくは ステイトメント	「作品説明 もしくは ステイトメント」は、展示の際に原文のまま掲示させていただきます		

【事務使用欄】

真の写真発明家は誰かという点に関しては未だに論義の余地は残されているが、1枚のネガがあれば無限にポジがつかれるという今日の写真の今日的な意義を考えると、われわれはタルボットを「近代写真術の発明家」と呼ぶのにためらいはない。

タルボットの業績は単にそればかりではなく、1840年「潜像」とその化学的「現像」を発見し、近代写真術の基礎をつくったのである。また顕微鏡写真の成功、赤外線などの不可視光線による撮影の可能性を示唆までしている。(自然の鉛筆 Plate VIII の文章中)。しかし、なかでも大きな功績は、重クロム酸塩とゼラチンとの混合物に光を与えれば、この混合物はもはや冷水や温湯にも不溶性になるという事実を発見、1852年に特許をとっている。これはオイル、ゴム、カーボンなどの各印画法に、写真製版ではグラビア製版、コロタイプ、網目凸版法、写真垂鉛凸版法、写真平版法など、すべてこのタルボットの発見を利用しているのである。

本賞発案者の細江英公によるタルボット紹介文より引用  
(「写真の発明家 フォックス・タルボット-自然の鉛筆」展、写大ギャラリー、1977年9月17日(土)～10月20日(木)パンフレット)



100th Anniversary Since 1923